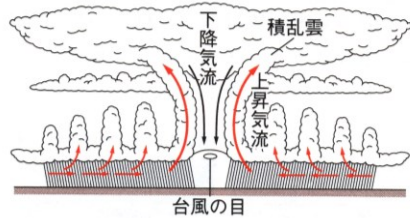


塾技 82 1 よく出題される台風の特ちょう についての補足説明

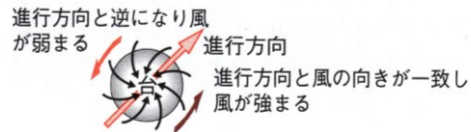
① 台風をつくる雲 ⑤ 台風の日の中について

台風は巨大な空気のうず巻きで、地上付近では通常の低気圧と同様、反時計（左）回りに強い風が吹き込む。台風^{えんしんりよく}の中心は「目」とよばれ、回転による強い遠心力で風が吹き込めず、弱い下降気流^{かこう}を生じて雲がほとんどない。



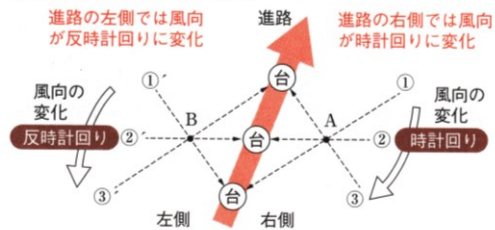
③ 風の強さ：進行方向の右側が強いことについて

進行方向の右側では、風の向きが台風の進行方向と一致するため強い風が吹き、進路の左側では、風の向きが進行方向と逆向きになるため風が弱まる。



台風は低気圧の一種なので、台風のまわりでは、風が台風の中心に向かって反時計回りに吹き込む。そのため風向は、台風の進路の左側の地点（右図 B）では反時計回り（①' → ②' → ③' の順）に、右側の地点（右図 A）では時計回り（① → ② → ③ の順）に変化することになる。

台風の進路と風向の変化



④ 台風の進路：小笠原気団の勢力で決定することについて

台風は、小笠原気団のふちをまわりこむように進むため、小笠原気団の勢力で進路が決定する。列島付近まで北上した後は、上空の偏西風^{へんせいふう}によって東寄りに進路を変える。

